

KAHOKU

かほく市
議会だより



第10号



ぶどうも笑顔もたわわに……。

月に1度は
全員協議会を開く

CONTENTS 平成18年6月

平成18年 第2回 定例会	2
一般質問(6人が登壇)	5
常任委員会レポート	11
視察研修レポート	14
道 Life & Look	16

平成18年 第2回 定例会

6月14日～23日

平成18年6月14日から10日間の日程で第2回定例会が行われ、各会計における平成17年度補正予算の専決処分のほか一般会計補正予算、条例の一部改正など20議案について審議し、原案どおり可決・承認した。また、市長追加提案の工事請負契約についても原案のとおり可決した。



復旧が待たれる農免道路

専決処分の主なもの

◇17年度一般会計補正予算

歳入では、譲与税や国県支出金等の確定による補正、

河北台・宇ノ気両中学校の改築事業に伴う学校教育債増額などのほか、これらの増額補正に伴い、財政調整基金など繰り入れを減額。

歳出では、各事業の実績に伴う精算のための補正のほか、職員の退職に伴う退職手当組合負担金の計上な

ど、歳入歳出それぞれ1億9千403万4千円を減額。
(全員賛成)

◇17年度土地取得特別会計

土地開発基金積立金1千471万1千円を減額するもの。
(全員賛成)

◇17年度国民健康保険特別会計

収入金額や給付額などの



解体される校舎

北部農 復旧

免道融雪災害 費に3千600万円

18年度一般会計補正予算(第二号)

歳入歳出それぞれ4千588万6千円を追加し、総額を142億9千598万6千円とした。
(全員賛成)

歳入の主な内容

●県からの収入

環境にやさしい農業推進事業や災害復旧費に2千355万円を増額。

●財産収入

土地売却収入で42万3千円を増額。

●寄附金

学校教育費、総務費寄附金など50万円を増額。

●市債

農地・農業用施設災害復旧事業債に980万円増額。

歳出の主な内容

●総務費

公共施設等の管理委託料など40万9千円を減額。

●衛生費

ごみステーション推進事業に440万円を増額。

●農林水産業費

環境にやさしい農業推進事業に800万円増額。

●教育費

寄附金に伴う物品購入費40万円。
新化館維持管理事業に50万9千円を増額。

事業費確定により3千900万円を減額するもの。
(全員賛成)

◇17年度老人保健特別会計

医療費給付額の確定により9千268万1千円を減額するもの。
(全員賛成)

◇17年度介護保険特別会計

介護給付費の確定により、4千660万1千円を減額するもの。
(全員賛成)

◇17年度下水道事業特別会計

下水道事業整備基金積立金に1千556万9千円を増額するもの。
(全員賛成)

◇17年度宅地造成特別会計

土地売却収入1千581万円を減額するもの。
(全員賛成)

○職員等の旅費に関する条例の一部改正

旅費の支給について、規定額と実費負担額との整合を図るもの。
(全員賛成)

○市税条例の一部改正

地方税法などの一部を改正する法律に伴う改正であり、個人住民税の均等割及び所得割における非課税限度額の引き下げのほか、固定資産税の評価替えに伴う負担調整措置の見直し、市たばこ税の引き上げなどを改正するもの。
(全員賛成)

●商工費

高松産業文化センター維持管理事業(空調設備修繕費)に315万円。
倒木等処理委託料に31万5千円。

大崎海浜公園維持管理事業(老朽既設フェンス撤去費)で34万7千円の増額。

●災害復旧費

北部農免道路融雪災害復旧工事費に3千605万円。

議決議案

○字及び小字の区域並びに小字の名称の変更に
ついて

黒川地区の県営ほ場整備事業が完了したことによる所要の変更を行うもの。
(全員賛成)

○市道の路線認定につ
いて

木津地内の道路新設(市道1-92号線)に伴い認定するもの。
(全員賛成)

○工事請負契約の締結
について

契約目的
市道七窪3号線
加茂田橋上部工整備工事
契約の方法
公募型指名競争入札
契約金額
1億1千685万4千500円
契約の相手方
金沢市西泉1丁目66番地1
オリエンタル建設株式会社
金沢営業所
所長 樋浦 孝一
(全員賛成)

○市国民健康保険税条例の一部を改正する条例
について

地方税法の一部改正に伴う、適用条項の整備を行うもの。
(全員賛成)

○市保育所条例の一部を
改正する条例について

大海保育園の開園に伴い、大海第一保育園及び大海第二保育園を廃止するもの。
(全員賛成)

○市水道事業の設置等に
関する条例の一部改正
変更認可に伴う改正。

(全員賛成)

契約目的

市道七窪3号線

加茂田橋上部工整備工事

契約の方法

公募型指名競争入札

契約金額

1億1千685万4千500円

契約の相手方

金沢市西泉1丁目66番地1

オリエンタル建設株式会社

金沢営業所

所長 樋浦 孝一
(全員賛成)

(全員賛成)

完成間近の加茂田橋



議決議案

○市農村地域における工業等の導入を促進するための固定資産税の課税免除に関する条例の一部改正

農工法の規定による固定資産税の課税免除の適用期限延長に伴う改正。
(全員賛成)

○市議会の議員その他非常勤特別職の職員の公務災害補償等に関する条例の一部改正

民間労働者と地方公務員としての市議会議員その他非常勤特別職との災害補償制度の均衡を図るため、通勤の規定などの改正を行うもの。
(全員賛成)

○市税条例の一部を改正する条例について

地方税法の一部改正に伴い、住民税所得割の比例税率化や定率減税の廃止、地震保険料控除の創設など、10月1日以降の施行に伴う改正。
(全員賛成)

○市水道事業の設置等に関する条例の一部改正

変更認可に伴う改正。
(全員賛成)

○市国民健康保険税条例の一部を改正する条例
について

地方税法の一部改正に伴い、住民税所得割の比例税率化や定率減税の廃止、地震保険料控除の創設など、10月1日以降の施行に伴う改正。
(全員賛成)

○市保育所条例の一部を
改正する条例について

大海保育園の開園に伴い、大海第一保育園及び大海第二保育園を廃止するもの。
(全員賛成)

(全員賛成)

JR横山駅舎改築は JRと相談

一般質問



杉本 成一 議員

査したい。

○市議会の議員その他非常勤特別職の職員の公務災害補償等に関する条例の一部改正

民間労働者と地方公務員としての市議会議員その他非常勤特別職との災害補償制度の均衡を図るため、通勤の規定などの改正を行うもの。
(全員賛成)

○市税条例の一部を改正する条例について

地方税法の一部改正に伴い、住民税所得割の比例税率化や定率減税の廃止、地震保険料控除の創設など、10月1日以降の施行に伴う改正。
(全員賛成)

老朽化した横山駅舎



○駅舎改築を含めたJRとの協議時期は。

○市長 PPP方式の可能性や平成26年開通予定の北陸新幹線に伴う在来線の移管見込みなど、調査・整理した上で、近いうちにタイミングを見計らって相談したい。

※参考
(17年度利用人口)

- ・ I R 高松駅 約700人
- ・ J R 横山駅 約400人
- ・ J R 宇野気駅 約1千200人

※用語解説

▼PPP方式(パブリック・プライベート・パートナーシップ)
文字どおり、官と民がパートナーを組んで事業を行うという、新しい官民協力の形態。例えば水道やガス、交通など、従来地方自治体が公営で行ってきた事業に、民間事業者が事業の計画段階から参加して、設備は官が保有したまま、設備投資や運営を民間業者に任せる民間委託などを含む手法を指す。

Q 駅舎改築にあたってのプランは。

A 市長 PPP方式(パブリック・プライベート・パートナーシップ方法)があり、民間資金を活用するなど、駅舎整備の可能性を調

Q JR横山駅舎改築は。則JR。現実には難しい。公益性が高い理由で改築すべ

○市議会の議員その他非常勤特別職の職員の公務災害補償等に関する条例の一部改正

民間労働者と地方公務員としての市議会議員その他非常勤特別職との災害補償制度の均衡を図るため、通勤の規定などの改正を行うもの。
(全員賛成)

○市税条例の一部を改正する条例について

地方税法の一部改正に伴い、住民税所得割の比例税率化や定率減税の廃止、地震保険料控除の創設など、10月1日以降の施行に伴う改正。
(全員賛成)

一般質問

大雪による森林被害の現状と対策は 県と協議しながら検討したい



宇野 順一 議員

Q 平成16年発生台風23号、それに追い打ちをかける大雪により、森林に壊滅的かつ甚大な被害をもたらした。被害森林をこのまま放置すると、河川環境などの悪化が懸念される。国、県、市の行政機関で今後の対策を協議すべきでは。
A 油野市長 森林の有する公益的機能の維持増進を図るため、粘り強く国、県の関係機関に森林整備の支援を要請していきたい。

介護保険適用の医療病床廃止についての対策は要介護高齢者に対し積極的な支援を行いたい
Q 介護保険適用の介護病床は廃止との再編方針が出された。要支援1、2の介護度の低い患者は在宅介護



甚大な被害を受けた森林

になると思われるが、介護サービスの充実、今後さらに積極的な支援策が必要と考えるが、その対応策は。
A 市長 今後は地方の負担が大きくなるよう、よりよい社会保障制度の実現を国に要望していく。退院された高齢者の方については、介護サービスの充実を受けるために、病院による往診や訪問看護など地域医療の連携強化を図っていき



安達 肇 議員

Q 市は、効率的なごみ収集を促進し経費の節減を図るため、ごみステーション方式を導入した。しかし現制度は、併用方式であり、戸別収集を継続する場合は1世帯当たり年間2千円の増額となるが、その1/2の千円のみを負担するといふもの。これはステーションを実施した世帯より優遇されているとの声もある。全世帯ステーション化に向けた期限または努力目標を

示す考えは。
A 油野市長 ステーション方式は住民のコンセンサスを獲得して実施できるもの。期限を設けて強制するものではない。しばらくは実施状況を見守りながら検討していきたい。
また、本制度は、戸別収集地区に負担をお願いするというものであり、戸別収集を優遇していない。

今年度の進捗見込みは
10月までに40%近くに

Q 今年度は、どれくらいの世帯がステーション化となる見込みか。
A 市長 宇野気区などの、積極的な取り組みにより、予想以上の実績となっている。6月1日現在19.7%、10月までには40%近くの実施が見込まれる。今後も、市広報などを通じPRに努め推進していく。



ごみステーション (宇野気区)

プレミアムパスポートを企業局に取り入れては料金体系が趣旨とそぐわない

Q 西田哲学館、うみつこらんどだけでなく、企業局などにも「プレミアム・パスポート」を取り入れることができないか。
A 市長 上下水道の料金体系は「公正妥当性を欠いたため、不公平であってはならない」と定めており、趣旨とそぐわないため、取り入れることは適切でない。
「プレミアム・パスポート」以外にも子育て支援に力を注いでいく。

ごみステーション

期限または努力目標を示す考えは
強制はしない
実施状況を見守り検討

一般質問

一般質問

本庁舎への機能集約は 本年度中に方針を定めたい



荒井 三喜雄 議員

今後の事業計画は

緊急性や必要性を十分に検討し実施

Q 工夫をすれば、本庁舎への機能集約が可能と考えられる。維持管理費の軽減を図るためにも、本庁舎をフル活用すべきでは。

A 油野市長 組織機能の見直しや事務事業の再編、職員の見直し計画などを進めながら、市民ニーズに合わせることでできる庁舎整備を検討し、本年度中には最も望ましい庁舎整備の方針を定めていきたい。

Q 保育所統合や小学校耐震工事、ケーブルテレビなど大型事業、各地区要望陳情が山積しているが、市の財政が逼迫している中、今後の取り組みは。



改修で安全になった道路

高松南部地区の悪臭対策は

今後も定期的に測定

A 市長 今後の財政運営を考慮する中で、明確な事業実施のスケジュールを示すことが難しい状況。これまで以上に行政改革を進め、財政ひっばくの折り、限られた財政の中で、緊急性や必要性を十分に検討し実施していきたい。

Q 事業主にこれまで改善策をどのように求めてきたのか。

A 市長 平成16年8月に悪臭の発生源である代表者に対し、強く改善を求めてお

Q 側溝改良工事の進捗状況について、高松市内において道幅も狭く、通学、交通安全上において危険な道路があるが、できるだけ早く取り組んでいくべきではないか。

A 市長 区・町会からの要望は200箇所を超えている。現状では限られた予算の中で工事を進めるしかできないが、緊急性があり、改修効果の高い箇所から順次整備していきたい。



富澤 明次 議員

市に困りごととして

相談事例はないが、相談があれば、ハローワーク津幡からの求人情報を提供する。

Q ニート・フリーターは市内にどれだけのいるか。

A 油野市長 ハローワーク津幡では、就業意思のないニートや個別に就職活動を行っているフリーターは把握できないとのこと。市としても独自の調査は困難。

Q 国民健康保険加入状況はどれだけのか。

A 市長 20代で30人弱の加入で年々減少傾向にあるが、家事手伝いもあり、ニート、フリーターとを分類できない

Q ニート6割が学校時代の部活未経験者と言われているが、中学校での部活加入状況は。

A 市長 市内3校全生徒1千88人中、1千83人が加入している。未加入生徒も特別な事情があるため、実質的には100パーセントと考えられる。

Q 市独自の若者への就職斡旋・雇用対策の取り組みはあるか。

A 市長 郡市の企業・行政で組織する「河北雇用対策協議会」で、新規卒業者向けに毎年就職ガイドブックを作成し、地域企業への就職情報を提供している。また「石川ジョブカフェ」など、県の機関を利用することが多いことから、市独自の施策は非効率的で



もあり、現時点では考えていない。

※用語解説

- ・ニート 働かず、学校教育を受けず、職業訓練に参加しない者。大学や高校などの学校を卒業したあと、就職意欲もなく進学もしない若者を指して使われる言葉。
- ・フリーター フリー（英語）とアルバイト（和製語）を組み合わせた和製語。会社や団体に正社員や職員として所属せず、時給や日給による給与を主な収入源として生活する人のことを指す。恒常的なアルバイトを主な収入源とする人とほぼ同義。

ニート・フリーターの就職相談はあるか 相談があれば求人情報を提供する

一般質問



遠田 順 議員

Q ケーブルテレビにおいて本年度の実施設計に3千550万円の予算を計上してあるが、今後のスケジュールと生活弱者に対する配慮は。

A 油野市長 本年度に実施設計を行い、19年度に工事着手。住民説明会を町会単位で開催し、20年春には開局予定。生活弱者には各種の減免制度の検討をしていきたい。市広報で3回程度のシリーズでお知らせしていく。

Q 現在、市内に設置されているAEDはどれくらいあるか。不特定多数の人が出入りする市役所にも必要では。

A 市長 市内にAEDの設置台数は、11台となっており、病院などで8台、高松中学校に1台、総合型地域スポーツクラブで2台となっている。本年度は3台設置を予定しており、今後、市役所庁舎においても設置するよう検討していきたい。

Q 通学路におけるセーフティ・サポートに、地域の人たちと連携をとり、防犯力を高める創意工夫を図れ。

A 遠田教育長 本年度、かほく市が文部科学省補助事業である「地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業」のモデル地域の指定を受け、学校安全に関する支援があり、市内安全委員会の共通ジャンパーや腕章の作成、安全マップの再検討のほか、防犯避難訓練や防犯講演会を開催し、家庭や地域社会、警察などの関係機関と連携を強化していきたい。



ケーブルテレビの今後のスケジュールは 本年度は実施設計、来年度から工事着手

一般質問

委員会レポート

議会には二つの委員会があり、審議の内容を報告します。



災害復旧事業を早く

おまな質疑
(所管事項含む)
寺内委員 農地農業用施設災害復旧事業を、もう少し早くできないか。

酒井財政課長 基本的に、雪解け後でないと調査などに着手できないので、この時期になる。
杉本委員 財産管理費の公社補助金、委託料が大幅にマイナスなのは、

森田課長 全体的には以前と変わっていないが、イオン側も出店の方向で進んでいる。市としては農業振興地域の除外に努力しているが日数を要する。

審査の結果

荒井委員 学生居住助成金は何名分か、また学生らがアルバイトできる環境を。

森田企画情報課長 130名中112名分です。残り数は通学可能範囲の方。アルバイトができる所は当市の現状では少ない。

金田委員 ゴルフ場の利用交付税で880万円ほど減額は

酒井課長 ゴルフは非常に天候に左右される事が多く、17年度は正月前からの大雪で、客数が少なかったことが大きな要因。

- 市税条例の一部改正
- 市職員の旅費に関する条例の一部改正
- 市農村地域における工業等の導入を促進するための固定資産税の課税免除に関する条例の一部改正

総務常任委員会

- 委員長 沖津千万人
- 副委員長 金田 正信
- 委員 寺内 照雄
- ” 荒井三喜雄
- ” 杉本 正一
- ” 安達 肇

総務

常任委員会

医療費の償還払いを早く



入念な医療費の審査事務

おもな質疑

(所管事項含む)

遠田委員 医療費の償還払いの申請をして、それが還ってくるまでに3カ月かかる。もっと早くする方法はないのか。
杉本保険医療課長 医療機関からの請求は1カ月まとめて翌月請求となってくる。その翌月に連合会などで審査し、その翌月に市の方へ情報がくるということで3カ月かかる。現況では不可能。
猪村委員 給食のまかない費が大きな減額になっているが、もう少しシビアに見られなかったのか。
酒尾子育て支援課長 各保育園で予算付けしているが、途中で入ったり出たりとの動きもある。
遠田委員 市でひとり親の

補助を受けているのは何人ぐらいか。
杉本課長 100名程度である。
山田委員 生活保護費で1千850万円の減額となっているが、生活保護を受ける人が減ったのか。
西市民部課長 当初から減ったのでなく、増額を見ていたが、医療扶助の部分が減り、人数が減ったわけではない。

町の動向を踏まえながら対処していきたい。

審査の結果

- 17年度一般会計補正予算
 - 17年度国民健康保険特別会計補正予算
 - 17年度老人保健特別会計補正予算
 - 老人保健特別会計補正予算
 - 国民健康保険条例の一部改正
- (以上、全員承認)

市民文教常任委員会

- 委員長 多々見 武
- 副委員長 山口博之丞
- 委員 別宗 明敏
- 猪村 博靖
- 山田 孝一
- 遠田 順

※用語解説

・認定こども園 親の就労状況にかかわらず、ゼロ歳児から就学前までの子どもについて、教育や保育、子育て支援を総合的に担う施設。親子の集いの場を設けるなど一定の要件を備えていることが必要。既存の幼稚園と保育所が連携したり、幼稚園に保育サービスや、または保育所に幼稚園の機能を追加する場合も認定される。

公共下水道の宅内配管の早期接続を



早期に宅内配管の接続を

おもな質疑

(所管事項含む)

竹内委員 公共下水道の面整備が終了した地域で宅内配管の接続が遅れている家庭に早期接続を勧告しているのか。
新藏下水道課長 3月末現在77パーセントの現状です。水洗化率向上のため普及に努めたい。
宇野委員 土地区画整理事業の減額予算は全て工事が終了したのか。
田丸都市建設課長 概ね工事は終わり、道路照明が一部残る。
宇野委員 観光振興費で高地谷の桜の倒木処理費が計上されているが、杉が大きくなり、桜の景勝地を阻害している。県公社と協議したい。
大西農林水産課長 早々に

協議する。
杉本委員 災害復旧費が確定したが、国庫補助65パーセント以上絶対無理か。
大西課長 国庫65パーセントの残額の80パーセント交付税措置される。県との協定書の中で水害は維持管理側の負担。
富澤委員 残留農業の制度を市民に周知するのか。
大西課長 県と防疫協会セツトの回覧版を回す。
富澤委員 井戸水を飲料利用している方がいる。検査に補助制度はないか。
東企業局長 そのような制度はない。

○その他

西田委員 昨年の大雪で畑へ排雪し苦情が多い。地域住民、区長会などの意思の疎通が欠けている様に感じる。
田丸課長 昨年の大雪は例年になく早い時期から降り、極力、区長会にお願いし、空き地に堆積した。
西田委員 融雪工事は早い時期に着手を。
田丸課長 昨年の反省を踏

まえ努力する。

竹内委員 先ほど現地視察した、若緑通学路は見通しが悪く危険であり、委員会の総意として執行部へ早期に交通安全対策を図るよう要望していきたい。
田丸課長 路肩の除草、雑木等伐採を早急に対応、見通しについて最小限効果があがるよう検討していきたい。

富澤委員 旧3町の都市計画路線は、新総合計画の中でどう対応するのか。
田丸課長 市の総合計画と整合性を図り、都市計画マスタープランを旧3町の計画を合わせて道路網計画を作っていく。

審査の結果

- 17年度一般会計補正予算
 - 17年度下水道事業特別会計補正予算
 - 18年度一般会計補正予算
 - 水道事業の設置等に関する条例の一部改正
 - 市道の路線認定
- (以上、全員賛成)

産業建設常任委員会

- 委員長 富澤 明次
- 副委員長 宇野 順一
- 委員 杉本 成一
- 西田 正剛
- 竹内 幹雄
- 中村 修一

下水道宅内配管接続について

下水道が使用可能となつてから、3年以内に接続しなければなりません。改造資金の融資や、助成については、「融資あっせん制度」として、かほく市内の金融機関で、改造資金60万円までを上限に、利子補給を行います。その他「水洗便所等改造助成金制度」や、「合併処理浄化槽の早期接続助成金制度」もあります。

視察研修レポート



わかりやすい

「議会だより」をめぐって

5月18日から19日の2日間にわたり、議会広報の編集体制、編集方法等の研究を目的とし、香川県の善通寺市議会と坂出市議会を訪れました。

善通寺市議会では、議会だよりは単独で発行しておらず、行財政改革・経費節減の対象として、平成12年から市の広報紙に6ページから8ページで組み込まれていました。

配布先については、全世帯の他、駅やコンビニ、公民館などにも置いているとのことでしたが、市内に自衛隊と大学があり、自治会の加入率が7割程度となっているため、以前自治会委託で配布していたものを、



研修議論する広報委員

現在は業者委託しているとのことでした。

記事内容につきましては、

専門用語の用語解説や写真やカットを増やすなど、できるだけ市民に分かりやす

い紙面づくりを心がけていますが、一般質問の掲載については、ページ数の都合上、複数質問をした議員においては、代表的な質問を掲載しており、その他の質問は、質問タイトルのみを載せているとのことでした。

また、掲載不足分については、ホームページの会議録や各々議員が質問要旨・答弁を掲載した印刷物を発行して対応しているとのことでした。

次を訪れた坂出市議会は、以前は市の広報の中で議会情報を掲載していましたが、昭和52年より「議会だより」として独立させていました。

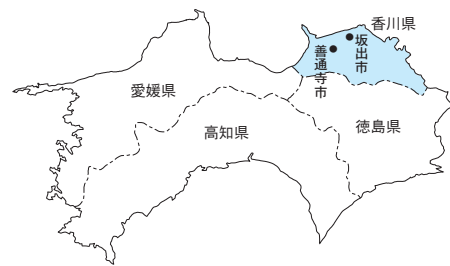
記事内容としては、善通寺市と同様、一般質問の内容は議員一人あたり1、2点を重点に掲載し、その他は質問タイトルのみ掲載しておりました。

紙面は、全体的に文字数が多く写真が少ないため、堅く感じる紙面を感じさせますが、2色刷りの色を番号変えているという点では、非常に参考になりました。

また、最近では個人情報の取り扱いや掲載記事の本人承諾に注意を払っているとのことでしたので、当市委員会においても今後、検討していきたいと思えます。

今回の研修で得た、様々なアイデア、手法を持ち帰り、より市民にわかりやすく、見やすい「議会だより」を目指して、議会広報作成にあたって行きたいと思った次第です。

〔文責 宇野順一副委員長〕



月に1度は 全員協議会

議会活性化推進委員会は4月に開かれた全員協議会で、議会活性化の一環として、全協を毎月1回開くことを報告した。

議会活性化推進委員会は4月5日、定例会と必要が生じた際に招集してきた全協だけでは、執行部の報告説明や議員の質問の時間が足りない場合もあることから、毎月1回開くことを決めたもの。執行部の報告事項がない月は議員研修会を

開く。

初回となった4月25日の全協では、執行部が地域包括支援センターや市集中改革プランなどについて報告した。この後、議員研修会を開き、津幡町の河北郡市リサイクルプラザ「エコみらい河北」を視察した。



「エコみらい河北」を視察

庁舎整備調査委員会を設置 委員長に中村修一氏

6月14日、議員協議会を開き、「かほく市議会・庁舎整備調査委員会」を設置し、委員長に中村修一氏、副委員長に沖津千万人氏を互選した。

8日に一般公募を含む委員12人で発足した市庁

舎整備検討委員会の発足を受け、市議会内でも庁舎のあり方について議論、検討することにした。調査委員会は全議員で組織し、毎月1回の全員協議会後に委員会を開く。

ドイツ メスキルヒ市視察報告

ハイデッガー博士 没後30周年記念式典に出席

ドイツの哲学者ハイデッガー、没後30周年記念式典に出席するため、5月24日から28日までの出入り5日間にわたり、ドイツのメスキルヒ市へ山田議長ほか3名が訪問しました。

ハイデッガー博士の墓参、そして献花、その後、公会堂で没後記念式典に参加。市役所での公式歓迎会では、20年間に亘る両市の交流の感謝と、今後ますますメスキルヒ市とかほく市の友好と発展を願い、挨拶しました。





わらじの時代は かほく市の基幹道路



奈良時代初頭に官道として構築された古代能登街道は、津幡川の北を河北潟の東縁、山裾に沿って、大海川を越え、能登国府に至る道でした。
現在の街道の基は中世に入ってから形成されたもので、津幡宿(北陸道との追分宿から宇野気、木津、高松宿へと続く道が幹道だった。京都聖護院門跡興准后の「廻国雑記」には、高松に至る河北の地で塩焼き(製塩)がされていたと記され、また、近世に入ってから著

された「三州測量図籍(文政三年)には、津幡宿、高松宿へ至る「本道」に加え、河北潟縁道の「潟縁往来」と、海沿いの「海辺往来」の二本



七尾線を横切る能登街道

一人、動物、が生活する上で「道」の存在は絶対に不可欠である。かほく市の地域を結ぶ幹線道路「能登街道の今昔」を追ってみました。

の脇道も併用されていたとある。

今の街道をたどると、現在の「本道」は、県道津幡四ツ角交差点が基点で、多田地内から指江、宇野気へと県道に見え隠れしながら、ほ場整備された田園と住宅団地を左右に見て北に続いている。



狩鹿野沿道のイリコ宮

狩鹿野沿道の西側に鎮座するイリコ宮(大物主神社)には、湧き水井戸の跡があり、当時の面影を残している。さらに北上し、宇野気駅前の商店街へ入り、街道は市道となり、JR七尾線の踏切を越え、七窪へと続く。ここらには新興の住宅団地や工場、自動車学校など新しい時代の装いを呈している。

松浜で国道159号線と交差し、木津に入ると県道となり、高松に行く。文政五年に著された「木津村畑形絵図」には横山村境までの耕作者が記入されており、木津桃や・サツマイモ・菜種・西瓜等の栽培の先駆けをなしていたとある。

「中道」から「大町通り」に進むと、明治に入ってから作られた街道中央の江川(中堀川)の桜並木に出る。この辺りは宿場町として栄えた街並みが今も残り、

通りの中程には、嘉永三年に古宮町から移された額神社が、おごそかな佇まいをみせている。神社の境内から150m程北の街道には道路元標が今でも立っている。伊丹町で県道は右折して東へ。

街道は市道となり、ぶどう畑が点在する二ツ屋道と浜往来に分かれ、国道に合流して大海川を越える。街道沿いには、文化財や歴史跡が多数残り、当時の人々の活気ある生活を想像することができる。古代、中世へ、そして現代へと続く能登街道は、文化の伝承と経済の発展を語りかけてくれます。

参考:石川県教育委員会編集能登街道1

議会を傍聴しませんか



●次の定例会は、9月6日から15日までの10日間です。

[インターネットを接続している方へ]

議会は、かほく市ホームページで、次のとおり紹介しています。ぜひご覧ください。

映像ライブラリ

- (開催の当日に生中継) 市ホームページ→映像ライブラリ→見るの順で開いてください。
- (前回の議会) 市ホームページ→議会→録画映像→メニューへ→映像を見るの順で開いてください。

なお、ご覧になる場合は、ホームページに記載されている推奨環境が必要です。 <http://www.city.kahoku.ishikawa.jp>



この議会だよりは、限られた資源を大切にすため古紙配合率100%再生紙と大豆インクを使用しています。